

# KSKPコリアボランティア協会ニュース, No.40 (2000.4.5)

コリアボランティア協会編集部編

発行:大阪 : コリアボランティア協会, 2000.9.16. ; 7,[2]p

請求記号:震災-7-z82

※震災関連記事のみテキスト化しています

---

被災地発

## 全国のみなさまへ「震災は終わっていません！」

全国の皆様のボランティアに支えられ、2カ月毎に発行されているこの「コリアボランティア協会ニュース」も、40号、80カ月目を迎え、現在、沖縄から北海道まで、全国に6000部を配布することができ、心より感謝申し上げます。

震災支援を始めとする、さまざまなボランティア活動は、団体の皆様や誌面に載せきれないほど多くの、全国の皆様のカンパやボランティアによって支えられています。

横浜からは、毎年開かれる「防災ギャザリング」で“心の郵便局”を開設して、カンパや絵手紙を沢山送って下さった「文の友」（花里代表）の皆様、文通を続けている大阪の鶴橋小学校・ボランティア部の子供たち、この春休みも、当協会の日常介護もしている生徒の呼びかけで震災ボランティアをすることになった、プール学院（大阪）の生徒の皆さん、卒業後も文通や被災地訪問を続けている、松原3中の演劇部やボランティアコースの皆さん、又、韓国より、被災者の現状を聞き及んで駆けつけて下さった、安山工科大学の皆さん、などなど、本当に多くの皆様のボランティアにより、震災支援活動が支えられています。

皆様の支援の輪の中で、被災地でも徐々に復興住宅などで、自治会作りが始まっています。全国の皆様！子供たちにも呼びかけ、1通でも多く、高齢者を励ます手紙を協会宛送って下さい。被災地の小中学生と共に配り、地域のコミュニティを作っていきます。又、カンパをお寄せ下さい。1冊でも多く「全国文通文集」を作り、県外を含め、1人でも多くの方々に配布して行きます。

<鄭チョン>

[写真あり 安山工科大学（韓国）の学生と長田区（神戸）の高齢者を訪問、「全国文通文集」などを手渡し激励。  
（1月） 省略]

[写真あり 神戸の長寿友の会（長尾代表）一行と共に、松原第3中学（大阪府）を訪問、卒業を祝うと共に、震災ボランティアを話し合う。（3月） 省略]

---

## 路上のうた

震災で被災した路上生活者は、「住所不定」とされあらゆる支援のワクからハズされてきました。

左の写真は朝日新聞（2000年2月6日）に掲載されたもので、釜ヶ崎を始めとする路上生活者の実情をうたい、支援するために編まれた、詩集「詩怒季」（しとうき・中宮竜善）の全国販売を応援しています。

売り上げは炊き出しなどのカンパにあてられます。

10冊セット（送料込1万円）で何セットでも受け付けています。

詳しくは当協会（TEL・FAX 06-6717-7301）までご連絡ください。

[写真あり 詩集「詩怒季」（上）と釜ヶ崎のドヤ（簡易宿泊所）街に立つ中野恵さん。最近では暗い詩しか書けない＝大阪市西成区で 省略]

---

(c)2000コリアボランティア協会編集部(デジタル化：神戸大学附属図書館)